

2007年
第1号
通算10号



発行者・兼編集者
さいたま市ソフトボール協会
会長 和田隆雄
広報・放送委員会
委員長 田口秀夫

公式ホームページ <http://www.saitamashi-softball.jp>

平成18年度『評議員会』開催される！！

懇親会での報告会トークで決意を新たに

2月25日『プリランテ武蔵野』で、18年度評議員会が開催された。評議員数156名中出席115名、委任状数4名であった。

開会にあたり和田隆雄会長は「年間800試合を実施し、盛会の内全国大会に3チーム、関東大会に1チームが出場と、実のある1年でした。今年度は更に「責めず、楽しく、手分けして」(セタテ構想)の推進。上部組織から「大規模な大会を引き受けて」の要請受入れの検討。「協会設立5周年」にあたり感謝の集い式典を挙行、と3点の目標を持って活動したいと挨拶を述べた。議事に入り、18年度の事業報告・決算報告・監査報告がなされ、19年度の新役員・事業計画・予算・規約改正が過去4年間の経験を踏まえて、それぞれ最善の形で決定した事が報告承認された。

田中一弘顧問より「息をつくヒマもない行事。広範囲な地域より、小中学生、成年層よりシニアまで、男女と年齢別にわかれ楽しくプレーできるのは、理解ある家庭、両親、良き指導者、そして協会役員の皆さんのお陰です。今年もまもなくシーズンが開幕されます実りある運営で、無事故で終わらせたいと思います。よろしくご協力を！」との挨拶で懇親会が始まった。各テーブルでは異趣同舟で、技術談義、試合の反省会、各人の今年の抱負に花が咲いていた。来賓あいさつで、アシックス中須部長から「地元に住んでいます。一市協会で全国大会3、関東・県大会10数チーム出場で活躍は他協会では知りません。ここに参集の方々の熱い思いも他の団体でも見られません。当社は協会の要望に沿う覚悟です。大盛會おめでと〜と賞賛のスピーチをよせられた。田中一弘一中学生副委員長も「柔道が専門だが、畑違いのソフトを指導しています。中学でソフトを始めたい子供たちが県大会に出場出来る様に練習に打ち込める何か大きな魅力がソフトボールに有るようです。指導者冥利に尽きます」と部活顧問教師の思いを語った。

続いて渡辺充副理事長の司会で、全国・関東大会出場チームの報告会が始まった。



【常盤スポ少女子笹川康好代表】

春秋・男女共さいたま市大会で優勝、県大会でも代表権を獲得し、栃木での関東大会に出場、8月のスポ少中央大会でも男女アベック優勝と昨年は常盤イヤーでした。指導者が良く、父兄が大勢応援し、お世話をしてくれる。選手は素直で責任感があるし、負けると悔しがり泣く子が大勢いる。とても良い年でした。

【東浦和シニア・山田剛代表】

ねんりんピックは連続出場が出来ないので、ハイシニアの全国大会に出場すべく18名の仲間と若返り練習に励んでいる。全国の舞台に立ったお陰で日常生活にも張りができ、立ち振る舞いにも余裕が出来た。出場効果は抜群ですと意気軒昂

【大東小PTAソフト・藤川和仁代表】

入場行進で2年連続出とアナウンスされ会場が沸きました。連続は唯一だったからです。全国48チームの大半は優秀選手を集めた選抜チームで、我が大東小は純血メンバーで精一杯頑張りましたが、2回戦の壁は越えられなかった。「純血主義」は今後のテーマで、昼は練習、夜は飲酒で親睦を深め、チームワーク、勝負力強化を計ると、さらに闘志を燃やしていた。

【エルディスト大宮・眞嶋久美子代表】

50歳以上の女子チームという規定により、地元で活躍しているレディーを集め参加した。アメリカ・カナダ連合軍・東村山には負けたが、体重は互角、笑顔・気合では勝った。賛同者募集中です是非参加をお願いします。閉会になりトークショーで語り笑い、大盛況のうちに、直井寛治副理事長のメの音頭で、有意義な会が時間切れゲームセットとなった。

平成19年度役員名簿

平成19年8月18日現在(抜粋)

顧問	田中一弘	
会長	和田隆雄	
副会長	黒澤信義・田中勉	
〃	染井靖史	
理事長	浅見茂治	
副理事長	直井寛治・渡辺充	
〃	榎本靖二・白鳥一芳	
〃	河村展良	
総務委員長	永井洋三	(新任)
財務委員長	石渡勲	(新任)
審判委員長	山内山政	(新任)
競技委員長	小笠原新次	
記録委員長	本間幸次	
広報委員長	田口秀夫	
技術指導委員長	鈴木木征雄	
男子委員長	永田喜雄	
壮年委員長	長崎秀安	
実年委員長	藤原世久	
シニア委員長	大井康有	
女子委員長	醍醐真弓	
中学生委員長	浜出均夫	
小学生委員長	千葉典夫	
事務局次長	眞嶋久美子	
事務局次長	菱沼孝子	

平成19年度春季大会

3月25日開催予定の総合開会式が大雨により中止。同日能登半島地震、7月には台風4号、そして中越沖地震と天候異変の中、組合せを順送り、グラウンド変更などして、8月5日男子1・2・3部の準決勝、決勝戦を行い春季の全日程が終了した。今大会は初優勝チームが5チームで、世代交代が顕著にあらわれ、いずれもチームが若返り、新メンバーが活躍し、初優勝への意気込みが大胆だった。

開催日数 19日間 試合数 368試合

【優勝チーム】

男子1部	上木崎小PTAソフト	初優勝
男子2部	FSCバーボンズ	初優勝
男子3部	Ghana Reds	初優勝
壮年の部	谷田小PTAソフト	3度目
実年の部	大宮トゥクリーズ	初優勝
シニア	浦和SG	5度目
レディース	大宮クラブ	6度目
学徒総合	西原中学校	2度目
小学男子	赤羽根スポーツ少年団	初優勝
小学女子	常盤スポーツ少年団	5度目
ねんりんピック	浦和S・G	8度目

3団体が全国大会へ！！

『URAWA S・B・C』全日本壮年へ
全日本壮年の埼玉県予選会が、5月27日からふじみ野市で開催された。初出場のURAWA S・B・Cは出崎投手の熱投と、佃選手の本塁打を含む7本の長打で、常勝「秩父クラブ壮年」にコールド勝ちで初優勝した。9月7日に金沢市での全日本壮年大会に出場し、残念ながら地元チームに1回戦で敗れました。

『浦和SG』全日本シニア大会へ！！

秩父市で7月1日より全日本シニア大会県予選会が開催され、打力に勝る浦和が一回裏に3点奪取、以後も川口選手の2本の2塁打など4本の長打と、投げては佐藤投手が散発3安打に抑え、「人間シニア」に6-0で完勝した。優勝した「浦和SG」は10月12日から三重県志摩市で開催される、全日本シニア大会に出場します。

ねんりんピックも『浦和SG』が制す

4月30日から市予選会が開催され、佐藤投手の力投で「城北ゲンキーズ」を2-0で破り、代表権を獲得した。代表の「浦和SG」は全日本シニアとダブル出場です。11月10日から茨城県桜川市で開催される全国大会に出場します。全国大会のレベルは大変高いようですが、3団体のご健闘をお祈りします。

平成19年度春季大会

【一般男子1部】

上木崎小 PTA 逆転で初優勝！！

【決勝戦】 8月5日(荒川総合A面)

上木崎小 PTA ソフト	0 4 0 0 0 1	5
木崎小 PTA ソフト	1 1 0 0 0 0	2
上木	出崎秀一 宮田雅之・木村嶺孝	
木崎	吉嶺一富 佐々木保	
(本)	吉嶺一富[木崎]	
(三)	宮田雅之(二) 塩川弘記	
(審判)	田口正光・大久保汎・山下光信	
	石原幸男(記録・加藤五郎)	

優勝の上木崎小



上木崎、1点先行された2回川合・宮田の長短打で1点内野ゴロの間に追加、連打で計4点と逆転。6回には塩川の二塁打と敵失でダメ押しの追加点。木崎小は1回吉嶺のソロ本塁打で先行、2回には四球と安打で追加するも後続を断たれ惜敗。

【上木崎小 PTA・山崎二三夫監督談話】
暑い中で人が続出したが、チームの皆がカバーし、初優勝を勝ち取りました。全員の協力の賜物です。関東社会人大会でも頑張ってきてます。(結果・見事優勝しました)

【一般男子2部】

FSC バーボンズも逆転で初優勝！！

【決勝戦】 8月5日(荒川総合A面)

山崎 ソフト	4 0 2 0	6
FSC バーボンズ	5 2 1 0 x	8
山崎	西川 実・橋本裕之 小林靖治	
F S	宮沢憲治・遠藤修司 川端剛史	
(本)	四元康友 [山] 遠藤修司・藤原崇 [F]	
(二)	野口敦司 [山] 藤原崇・白倉一樹・田中直樹	
(審判)	丸田 豊・山本朝男・片山 茂	
	大木千平 (記録・島寄恒夫)	

4点を追う1回裏一死から四球を挟み5連続長短打の猛攻ですぐさま逆転、2回にもクリーンアップの3連打で2点を追加、3回にも一死二、三塁から川端の犠飛でだめ押し1点と突き放し初優勝。山崎は初回の4点を守りきれずに惜敗した。

【FSCバーボンズ・藤原崇監督談話】
エース遠藤の好投と各選手のチームバッティングにより、優勝できてとても嬉しい。この暑さの中で体調を崩す事もなく終了できた事も良かった。協会役員・審判員のご苦労に深くお礼申し上げます。

初優勝のFSCバーボンズ



【1・2・3部合同表彰式和田会長講評】
酷暑の中、12チームの皆さん本当に大変でした。最後は体力・気力の勝負でした。3チーム共に初優勝おめでとう。普段の練習、若手・ベテランの起用法、選手の熱意。この差が各部門の最強チームに到達したのです。秋には他チームの模範となって下さい。又 関係者各位の協力有難うございました。

【一般男子3部】

ガーナレッズ1安打完封で
念願の初優勝！！

【決勝戦】 8月5日(荒川総合E面)

ガーナレッズ	0 0 2 0 4	6
岩槻 球友会	0 0 0 0 0	0
ガナ	村田 創 高野雅規	
岩槻	斉藤亮太 大橋政之	
(本)	竹中 啓 [力]	
(二)	竹中 啓・村田 創・井原大輔 [力]	
(審判)	山内 渉・斉藤 武・樋口博司	
	程塚一久(記録・門間智衣子)	

ガーナは3回均衡を破り2点先制、5回は竹中の2本目の長打と二連続二塁打で一挙4点を取り試合を決め優勝。岩槻は四球や敵失で塁を賑わすも村田投手の前に要所を押さえられ1安打完封を喫した。

【ガーナレッズ・荻生田雅尚監督談話】
昨年の準優勝を超えることが出来た。悲願の初優勝はチーム力の勝利です。年々みんなの年齢も上がってくるが、それなりに対応しこれからもがんばって行きたい。

優勝のガーナレッズ



【壮年の部】

谷田小 PTA ソフト3度目の優勝！！

【決勝戦】 7月16日(北部公園A面)

谷田小 PTA ソフト	2 0 0 3 0	5
城北小ソフトクラブ	0 0 0 0 3	3
谷田	守谷英雄 高橋一弘	
城北	権藤幸二・原口信行 石川峰生	
(二)	嶋方 守 [城]	
(審判)	北林孝和・白鳥一芳・三田明夫	
	鈴木紀美雄(記録・野中新介)	

初回、投手の乱調で3連続四球と暴投・捕逸により無安打で2点先制4回にも3連続四球・暴投・犠飛で3点取り突き放した、終わってみれば1安打で勝利した。城北小は2・4回とチャンス逃し、5回一死二塁から連打で満塁とし、4・5番で3点取り追いかけるも届かず惜敗した。

【谷田小 PTA ソフト・野口雅夫監督談話】
チーム一丸となり、最後まで気を抜かずに頑張りました。日頃のチームワークと練習の成果だと思います。

【和田隆雄会長講評】
谷田小・守谷投手が、変化球を効果的に使った頭脳的なピッチングで、城北を抑えた。城北も最終回、前島選手のバントヒットと、4番会見選手のこの日3本目となるヒットなどで2点差に迫ったが、僅かに及ばなかった。

【壮年・実年・シニア・レディース総合表彰式】



【実年の部】

トゥクリーズ投打がか見合い初優勝！！

【決勝戦】 7月16日(北部公園C面)

大宮トゥクリーズ	0 4 0 4 0	8
大谷場東小 PTA ソフト	1 0 0 0 2	3
大宮	横田健司 斉田二郎	
大谷場	河村展良・奥沢 博 風間周二	
(本)	中山重男 [大宮]	
(三)	岡田忠男、斉田二郎 [大宮]	
(二)	藤野博 [宮] 宍戸信一、上田英生	
(審判)	岡田 貢・信田正行・稲垣英夫	
	友光節夫(記録・加藤五郎)	

1点を追う2回、5本の長打で4点を取り逆転、4回投手の疲れからか乱れ二死満塁から横田の右前適時打で4点取り試合を決めた。大谷場東も初回中山の本塁打により1点先制、5回も3連打で2点取るもそれまで。

【大宮トゥクリーズ・斉藤喜美雄監督談話】
今年は選手層が厚くなったのが優勝できた要因と思う。チームとしての練習は少ないが、各選手が、指扇リーグに所属していて、多くの試合を経験し、チーム力を高めている。就任1年目で優勝出来たことに、選手の皆さんに感謝しています。

【和田隆雄会長講評】
トゥクリーズは、横田投手の好投に打線が連打で応え、投打がかみ合った勝利であった。藤野二塁手、谷中遊撃手の華麗な守備が秀逸であった。

大宮トゥクリーズ



【シニアの部】

浦和 SG 猛攻。五度目の祝杯！！

【決勝戦】 7月16日(北部公園D面)

大宮レインボーズ	0 0 0 1 0 0	1
浦和 SG	4 0 0 0 2 2 x	8
大宮	松元元芳 田沼 斉	
浦和	佐藤和昭 山内康則	
(三)	川口明朗 [浦]	
(二)	野中友明・平田正博 [浦]	
(審判)	山内 渉・石原幸男・多田 紘	
	木内良一(記録・杉本長治)	

浦和は初回投手の立ち上がりを攻め、無死満塁から川口の走者一掃の三塁打、などで一挙4点を先制、5回には4連続安打により2点追加、6回も3連打により2点を取りコールドゲーム。

大宮は三回までパーフェクトに抑えられ、4回二死より敵失と連打で1点取るが佐藤投手の前に完敗。

【浦和 SG・新野一男監督代行談話】
春の3連覇気合を入れて勝負した。団結が良かった。打つべき人が打ち、投手が力投、攻守でカバーした。

【和田隆雄会長講評】
「浦和SGは、佐藤投手がライズボールを駆使してレインボーズを抑え、藤原実年委員長の痛烈な安打、世界選手権出場の経歴を持つ川口選手の長打で快勝した。投打・守備の質の高さは全国大会での活躍を期待させる。レインボーズは、30名近い選手が参加するなどチームワークの名を誇る名門チームである。ソフトボールを通じての大きな輪は素晴らしいものがある」と述べ表彰式を終了した。

【小学生男子の部】

赤羽根スポーツ少年団初優勝！！

日進・指扇地区チームが1・2・3位独占

【決勝戦】 7月1日（荒川総合B面）

指扇ライオンズ子供会	0 0 0 0 0 2	2
------------	-------------	---

赤羽根スポーツ少年団	3 0 0 1 0 0 x	4
------------	---------------	---

指) 永井諒・本澤風吹 本澤・山田武蔵

赤) 橋本大希 大宮航輔

(本) 塙 陽太、(二) 大宮航輔[赤]

(審判) 佐伯正夫・千田辰郎・島田 勇

多田 紘 (記録・三国正雄)

赤羽根は初回、一死一塁から4連続安打で3

点を先制、4回には塙の本塁打で追加、

指扇は7回本澤・山田の連打と敵失で2点差

としたが惜敗。

【赤羽根スポーツ少年団・池田監督談話】

大きな大会での優勝は今回が初めてです。

選手たちの普段の努力が結果に出ました。大

変!



【初優勝の赤羽根スポーツ少年団】

第2回会長旗争奪中学生大会

常勝西原破り、内谷中優勝！！

【決勝戦】 8月26日（西原中A面）

内谷中学校	2 2 0 3 3	10	5回
-------	-----------	----	----

西原中学校	1 0 1 0 0	2	コールド
-------	-----------	---	------

内谷中) 吉川彩花 川上 愛

西原中) 清水琴乃 小林みのり

本塁打) 川上 愛 [内] 清水琴乃 [西]

(審判) 丸田 豊・山内 渉・信田正行

棚沢敬治(記録・北林孝和)

内谷は初回・制球の定まらない投手を攻

め、安打、死球、敵失で2点、2回も失策

絡みで2点、4回も4安打敵失で3点、5

回は川上の3点本塁打で10点目を挙げ

コールド勝ち、西原は一回に清水の本塁打

で1点、3回敵失で挙げた2点目で完敗。

【和田隆雄会長・講評】

3年生が退部後、新チームでの初めての

公式戦という事で、少し経験の多い内谷中

が持てる力を十分に発揮したと思います。

これからがチーム作りであるので、各校指

導の先生方やコーチの皆さんと共に、益々

努力していただきたい。

『最優秀選手賞』としてアシックス様

より、投打に大活躍された内谷中・吉川彩

花投手にスポーツバッグが授与された。



【初優勝の内谷中学の皆さん】

【小学生女子の部】

常盤スポ小・5度目の優勝！！

【決勝戦】 7月1日（荒川総合B面）

常盤スポーツ少年団	0 1 2 0 1 1	5
-----------	-------------	---

指扇ライオンズ女子	0 0 0 4 0 0	4
-----------	-------------	---

常) 松橋妃呂香 矢野 恵

指) 櫻園美紀 渡部葵衣

(本) 半澤春奈[指]

(三) 松橋妃呂香(二) 倉根沙江[常]

(審判) 館野藤助・島田 勇・多田 紘

千田辰郎(記録・加藤五郎)

常盤は2回エラーで出塁後、暴投で1点、3

回はエラー出塁後3塁打などで2点追加、5

回倉根の2塁打と敵失で同点、6回安打の石

川を泉のタイムリーで勝利した。指扇は元気

一杯で声も良く出ていてチームの勢いも勝

っていた。4回半澤の本塁打、斉藤の安打、四

球、暴投、敵失で4点と逆転したが惜敗。両

チーム共、失策、暴投、捕逸が多く、守備力

の差で常盤が5度目の優勝を飾った。

【常盤スポ少・江田進監督談話】

新学期、新チームになった選手の春以来の

練習の成果が出ました。引き続き強いチーム

を目指し鍛えて行きます。

【田中勉副会長講評】

男女の準決勝、決勝を見学しました。男子は

4強の内3チーム、女子も同様に2チームが、

日進・指扇地区に集中し、この地区がソフト

ボール界の功労者、荒川健二郎先生率

いる大宮クラブが実力を発揮しての優勝であ

った。『まるまる』も準決勝で『RED ANGELS』

を下し、決勝戦でもあと一步のところまで、大

宮クラブを追いつめたことは立派である。秋

の大会の活躍が期待される。



【5度目の優勝・常盤スポーツ少年団】

【中学生女子大会】

さいたま市中体連ソフトボール冬季大会

3月4日～24日 市内中学・荒川総合

29チーム参加、リーグ戦66試合、トー

ナメント戦15試合、審判員延べ86人

西原中が第二東中を3-0で破り優勝。

3位の尾間木中、大砂土中と共に『石黒硬

記念選抜中学生大会』に推薦された。

中学校学校総合体育大会(ソフトボール)

6月2～6日 浦和軟式・荒川総合

38チーム参加によるトーナメント戦が行

われ、西原中が第二東中を4-0で破り優

勝した。3位は大原中・内谷中、5位は尾

間木中・大砂土中・指扇中・春里中でした。

ベスト4と尾間木中が県大会に出場した。



【レディースの部】

大宮クラブ 新メンバーでV6！！

【決勝戦】 7月16日（北部公園D面）

大宮クラブ	0 1 1 2 0	4
-------	-----------	---

まるまるず	1 1 0 0 0	2
-------	-----------	---

大宮) 原田理沙 長堀久美

まる) 平野佳帆子 小川 歩

(三) 中村朱美[大]

(二) 佐藤美香 [大] 荒井真由美

(審判) 棚沢敬治・渡辺芳昭・北村 勇

伊藤 貢(記録・三国正雄)

大宮は2回一死、二塁から佐藤の左中間

二塁打により1点先制、3回無死一塁から

中村の右中間三塁打で3点目、4回にも足

を使った攻撃で2点を取り突き放した。ユ

ニフォーム一新、若返り効果抜群。まる

まるずは初回、二死から敵失で出塁古山の中

前打で1点、2回一死一塁から敵失で1点

取り同点としたが後続なく涙飲む。

【大宮クラブ・荒川健二郎監督談話】

メンバーが勤務の都合で練習不足だ。原田

は投げ込み不足、周りはミスによる失点を

防がなくては。益々鍛え上げ、秋はもっと

いい試合をお見せします。

【和田隆雄会長講評】

昭和42年の埼玉国体を機に本県に招かれ、

以来、県内初の高校男子ソフト部を創立する

など、一貫して高校ソフトを指導された本県ソ

フトボール界の功労者、荒川健二郎先生率

いる大宮クラブが実力を発揮しての優勝であ

った。『まるまる』も準決勝で『RED ANGELS』

を下し、決勝戦でもあと一步のところまで、大

宮クラブを追いつめたことは立派である。秋

の大会の活躍が期待される。



【監督を囲み優勝した大宮クラブの選手】

【ねりんピック市予選会】

浦和SG接戦を制し全国大会へ！

【決勝戦】 5月13日（北部公園C面）

城北ゲンキーズ	0 0 0 0 0	0
---------	-----------	---

浦和SG	0 1 0 0 1	2
------	-----------	---

城北) 吉田邦男・潮来得男 白島一芳

浦和) 佐藤和昭 山内康則

(三) 朝比奈功一 [浦]

(審判) 石原幸男・山本朝男・佐伯正夫

(記録・野中新介)

緊迫した投手戦になり2回、安打で出塁する

も進塁できず、残った走者が捕逸、暴投で生

還、5回朝比奈の三塁打と失策で貴重な2点

目を取り勝敗を決めた。城北は佐藤投手の

前に1安打9三振を喫し完敗。

【浦和SG新野一男監督代行談話】

今年最重要とした大会で優勝できて嬉しく思

います。監督不在の中でプレッシャーもありま

したが、全国大会でがんばって来ます。

【染井靖史副会長祝辞・講評】

優勝おめでとうございます。全国大会は優秀

なチームが集まります。練習を重ねてさい

たま市代表としてがんばって来てください。

[左の写真は代表権を獲得した浦和SG]

**さいたま市協会加盟チーム
県大会で続々代表権獲得!**

全日本壮年兼スポーツマスターズ県予選会

URAWA S・B・C 初代表!!!

(代表決定戦) 6月3日(ふじみ野市)
URAWA S・B・C 9 - 2 秩父クラブ壮年
全国大会へ(金沢市・9月7日)

URAWA S・B・C 5 - 9 小松壮年ソフトクラブ

全日本シニア大会県予選会

浦和 S・G 代表権獲得!!!

(代表決定戦) 7月15日(秩父市)
浦和 S・G 6 - 0 人間シニア

全国大会へ(三重県志摩市・10月)

関東クラブ男子普及大会

上木崎小 PTA 第3代表へ

(3位決定戦)

上木崎小 PTA ソフト 11 - 10 霞ヶ関 S・C
関東社会人男子大会へ(古河市・8月)

上木崎小 PTA ソフト 6 - 4 上本クラブ

上木崎小 PTA ソフト 8 - 3 住金鹿島壮年

上木崎小 PTA ソフト 16 - 6 石和フレンズ

上木崎小 PTA ソフト 関東大会で優勝

県民総体兼国体県予選会

埼玉県庁クラブ代表決定!!!

(代表決定戦) 7月1日(毛呂山町)

埼玉県庁クラブ 9 - 1 秩父ノーススターズ

関東ブロック大会へ(鴻巣市・8月)

国民体育大会関東ブロック大会

(第二代表決定戦) 8月20日(鴻巣市)

埼玉県 2 - 6 千葉県(成年男子の部)

埼玉県は4部門全て代表権獲得出来ず。

県ソ協会より下記の方に競技役員・審判員の委嘱、派遣要請があり協力しました。本間幸次・武井圭一・信田正行・千葉典夫・山崎善樹・田口秀夫・榎本靖二 以上競技会田教之・田口正光・山下光信・矢作省吾・小林喜代子・佐伯正夫 以上 審判員

全日本総合男子選手権県予選会

埼玉県庁クラブ代表決定!!!

(代表決定戦) 5月27日(久喜市)

埼玉県庁クラブ 10 - 1 草加木曜会

全国大会へ(鳥根県松江市・9月)

全日本クラブ男子選手権県予選会

OMIYA CLUB 代表権獲得

(代表決定戦) 4月15日(毛呂山町)

OMIYA CLUB 15 - 7 人間クリーンズ

関東大会へ進み全国大会へ出場!!!

全国大会(北九州市・7月22日)

OMIYA CLUB 5 - 1 平林金属(岡山県)

OMIYA CLUB 8 - 4 千代クラブ(静岡県)

OMIYA CLUB 2 - 13 ダイワアウト(佐賀県)

学校総合体育大会(中学)

西原中関東大会へ!!!

(第二代表決定戦) 7月26日(毛呂山町)

西原中学校 5 - 4 東中学校(北本市)

[関東大会結果] 8月8日 山梨県笛吹市

西原中学校 0 - 5 日出中(優勝T)

さいたま市開催県・県南大会

関東小学生県予選会 3月31日 4月1日

男子(3)、女子(1) 常盤スポ少準優勝

石黒硬記念選抜中学生大会 5月12~26日

西原中・第二東中・尾間木中・大砂土中

関東ろう者体育大会 6月30日・7月1日

5県より5チーム参加 優勝 埼玉県

県南会長杯男子大会 8月9日~9月2日

11チーム参加 老竹・高砂小 PTA 3位

18年度審判伝達講習会

同日 普通救命講習も受講!!!

3月17・18日表題の伝達講習会が、与野本町コミセン、荒川総合公園で開催された。

17日和田会長は、「年間800試合、炎天下、寒風の中、大変ご苦勞様お世話になりました。

日ソ協には6万人の審判員が登録しています。市ソ協にはその中の300人で全国でも有数の登録数です。しかし1/3は高齢者、常に審判をやる人は1/3程度でしょうか? もっと裾野を広げプレーもすれば審判もするという理解を得るようにしたい」と挨拶を述べた。

ルール説明・必携の説明。今年度は特別な改正はないが、シニアの投球距離(13.11m)の変更、攻撃側のメンバーが、野手がファール飛球を捕球しようとしているのを妨害した時、のアウトになる場合についての説明があった。伝達徹底事項、確認事項の説明があり閉会した。

参加者数 記録、審判員90名

18日 荒川総合公園では高砂小 PTA、カスラズ、大牧小ソフトの協力を得て基本動作、発声練習、3、4審時のローテーションの実技に息を切らしていた(50名参加)。

そして40名は見沼区の市防災センターに移動し、普通救命講習を受講した。AED(心臓マッサージ)を含む。救急車が来るまでの応急法一般を受け、健康管理事故防止の啓蒙に務めたいとしたもの。



6月の常任理事会に於いて、試合中の雷雨については、一旦中断し、本部役員・審判員・競技役員で協議し判断する事に決定。

平成18年度さいたま市体育功労賞

津口 昇 競技副委員長

加盟団体代表 2名が表彰されました。

表彰式 3月4日 さいたま文化センター

平成18年度 県ソ協会表彰者

渡辺 充 副理事長

県ソ協評議員会 3月10日 ときわ会館

各支部より 58名 4チームが表彰された。

ハッピーニュース

チーム・人物紹介

さいたま市の北西端で輝かしい慶事が生まれた。春季大会で、一般男子2部優勝の『FSCバーボンス』と実年優勝の『大宮トゥクリーズ』にまつわる家族の良い物語です。

家長の藤原誠さんは、男子・バーボンスのコーチ、実年、シニアのトゥクリーズ代表。令夫人の婦美子さんはバーボンスとレディースのヤンチャリカの代表。長男の崇さんは元大宮南の高校球児で、バーボンスの優勝監督。長女の戸張美弥子さんは、川口女子高全盛時に大活躍し(監督は田中一弘先生・当協会顧問)、現在ヤンチャリカ監督。三女奈津子さんはヤンチャリカショートとバーボンスのスコアラー。そして孫の戸張雪奈さんは土屋中ソフト部で活躍中。この様に誠さん自ら選手、世話役をしながら地域振興、ソフトボール普及、人々のきずな、親睦を深める和を唱え永年ご苦勞された。今夏一族3代、5世帯、そして地域の人達の地道な努力が報われ、2部門制覇の快挙となって輝いたものである。秋には『ヤンチャリカ』の1勝を目指していると。

審判員・記録員認定会合格者

【第1種公認審判員認定合格者】3名

信田 正行・石原 幸男・斉藤 武

9月1~2日 坂戸市勝呂公民館開催

【第3種公認審判員認定合格者】

6月3日 見沼グリーンセンター

さいたま市から 119名認定。

9月2日 認定書・ワッペン配布

【第3種公式記録員認定合格者】3名

小山 奈菜美・佐古 美穂子・乾 ひとみ

7月21日 狭山市狭山青陵高校

【事務局だより】

日本女子リーグが10月27・28日鴻巣市で開催されます。前売り券【1000円】を500円で取り扱っています。希望者は連絡ください。(事務局長 眞島まで)

編集後記

記録づくめの猛暑の中、チームの皆様を始め、各競技役員の皆様のご協力に深謝申し上げます。大過なく市民体育大会へと向かっていますが、チーム各位のご健闘と各競技役員諸兄のご健康をお祈りいたします。

(染井靖史広報担当副会長)

昨年より県ソ協広報副委員長を兼務しています。全国大会・関東大会での花形である選手の影で、盛況な大会を支える大勢のスタッフが居ます。地元校、市内近隣市で活躍する裏方さんの活動を報告したいと思います。

(田口秀夫広報委員長)

広報誌・HP作成にがんばっています。アクセス数が9万8千件になり、今年中には10万件の大台に達すると思います。今回の台風による試合の予定変更は、HPが無かったらどのように伝達するか、IT時代のありがたさを人一倍感じています。今年からシニアの選手として、火・木曜日「大宮レインボーズ」で汗を掻かせていただいています。やはりソフトボールは運営より、自分自身でプレーしたいですね!! これからも努力して、より良い広報誌・HPになるようがんばります。

(榎本靖二広報副委員長)

選手の皆様の楽しんでる姿が素晴らしく感じられた春季大会でした。審判員と兼務ですが、各チームの活躍を伝えたいと思います。

(岡田眞広報副委員長)

リーグ戦、トーナメント戦と立ち合いましたが、どの試合もベスト4の戦いになると試合の迫力、選手の顔つきが違ってきます。寒風の中、炎天下での練習の集大成ですね。怪我・熱中症に気を付け楽しんでください。アーアー 益々ソフトボールから抜けられません。

(我妻英夫広報副委員長)

チームの皆さんとは広報員・審判員といえる形でお手伝いさせていただき、自分自身の体力も大分回復してきたようです。ふれあいを大切に頑張りますので、よろしく願います。

(斉藤 豊広報副委員長)

**さいたま市ソフトボール協会
事務局**

さいたま市見沼区小深作 485 - 1

眞嶋 久美子 方(〒337-0005)

TEL/FAX 048-683-5550

【広報誌編集委員会】

染井 靖史・田口 秀夫・榎本 靖二

岡田 眞・我妻 英夫・山内 涉

斉藤 豊・松本 文夫・門間智衣子